

平成23年度 歩く秋の例会誌



◎日時 平成23年10月1日(土)

◎行き先 早島町

◎参加者 50音順 敬称略

芦原 榎本 沖見 景山 亀山 菅田 祇園 篠原 妹尾 立花
田淵 広瀬 星島 松田 間野 山内 行本 吉岡 谷本

(以上19名)

◎報告記

今年度の秋の例会は、江戸時代に干拓と畳表の生産で大変な賑わいを見せ、その面影が今も残っている都窪郡早島町を散策してきました。

午前8時50分、岡山駅6番ホームに集合、マリンライナーで早島へ向けて出発、現地での合流組と合わせて19名で秋晴れの下、午前、午後、合わせて6キロ余りの散策を楽しみました。

宇喜多秀家が築いた宇喜多堤(干拓のために築いた潮止め堤防)の起点を示す記念碑を囲んで記念写真を撮った後、午前中は石見銀山の開発に貢献した早島町出身の山師、安原備中守の供養塔、早島戸川家の陣屋跡、前潟開墾記念碑などを見て回り、問屋の古い家屋を改築して公開している「いかしの舎」で昼食をとりました。



<昔の家老屋敷>

午後は東京、大阪、早島の豊表の間屋が航海の安全を願って、共同で奉納した一対の大燈籠を始め、鶴崎神社、豊表などを積み出した弁才天や舟本の港跡、い草の資料館などを回り、早島駅前の観光センターで一息入れて解散しました。



<金毘羅往来の道標>



<鶴崎神社>



<昼表の間屋が共同で奉納した燈籠>



<石だけが残る昔の波打ち際>

幹事の目が行き届かず、日程が民クのゴルフコンペと二日続きになりました。両方に参加された方々にはご迷惑をおかけしました。

歩こう会幹事 谷本保夫